

練馬区議会民主党・無所属クラブ

# 区政報告



**会派連絡先**  
発行 民主党・無所属クラブ  
練馬区豊玉北6-12-1西庁舎6F  
Tel 03-3993-1111(内7621~5)  
fax. 03-3993-1197  
HP shiraishi-keiko.net

編集担当 白石けい子 経歴 民主党・無所属クラブ会派 副幹事長 政務調査会長  
練馬区貫井育ち、高松在住。昭和29年生。練馬二小・貫井中・都立第四商業高卒。保育士・社会福祉主事。  
NPO法人 ケアステーションばかばか設立者。現在、3期目。所属機関・団体：健康福祉常任委員会、医療・高齢者等特別委員会・議会運営委員会所属 青少年問題協議会・練馬区介護サービス事業者連絡協議会通所サービス分科会世話人・ねりま介護事業者協働組合  
家族 夫・子ども7人(義理含む)・孫5人・犬1匹・猫2匹

## ご挨拶

副幹事長 白石けい子

今四月、練馬区議会議員選挙にて、3期目の再選をさせて頂いたこととなりました。現在、5名の議員構成により交渉会派となりました。

これからも、私の専門分野「介護・保育」の研究をすすめ、現場の傾聴と行政改革や議会改革等、「区民に開かれた議会」を目指してまいり所存です。

幅広いご意見・ご要望をお待ち致しております。



こんな時代だからこそ、区民創意のまちづくりを！

——平成27年度第3回定例議会終了——  
未来に向けた責任と精査の時代だからこそその取組みを！

## 平成26年度決算特別委員会 副委員長を務める！



平成26年度一般会計歳出額約2億4745万215万円に対する決算特別委員会において光永勉委員長とともに副委員長を14日間務めました。練馬区は、特別区交付金により、安定的財源が確保されているよすがが、社会保障・義務的経費は年々増大、独自に使える財源の硬直化が6年間も続き、今後のサービスへの影響は大。未来を見据え、より一層の研究と精査を切望し、会派として平成26年度決算を認定しました。

## 認知症？

実は「高齢者てんかん」の症状と類似。誤診が社会的問題に！

——一般質問から——

「てんかんは子どもの病気」「自分かてんかんになるわけが」という固定観念があることから、初期の発症を見落とされ、誤った診断や処方かされていることが問題となっている。

「高齢者てんかん」の発症率も子どもと同じように急増していることが調査研究で解明された。また特徴的な症状も、泡を吹くとか、卒倒するような症状ではなく、記憶や意識障害の状態が『認知症』に類似している、とのこと。適切な薬の処方によって、8～9割の人が症状を抑えることができることから、区民に向け、正しい治療法の知識、専門医のかかり方、お薬手帳の活用をしっかりと啓発するべきである。

## 第3子誕生祝金を出産時経費補助金に向けた財源として充てよう！

——決算委員会質問より——

練馬区では、前区長時代に、第3子の誕生の際、祝い金として20万円を支給するという制度が続いている。平成26年度の対象者595人、総額1億千9百万円が支給された。しかし、この制度で、出生率は伸びていない。そして何故三人目からだけなのか？も疑問。会派としてもこのテーマを長年にわたり区に問うている。昨今、子ども一人の出産に係る費用は、平均50～55万円を要し、出産育児一時金42万円では到底不足している事情を考慮し、独自に出産時に係る負担軽減の財源にするべきではないか。

## 【区への回答】

出産一連の一部補助は、対象にならない方もいることから現時点での考えはない。検証を含め検討していく。